

平成29年度 第3回 こども部会 会議録

【日 時】 平成29年10月18日（水） 13:30～15:00

【場 所】 美馬市役所 南館 306会議室

【参加者】 発達障がい者総合支援センターアイリス、池田学園、美馬小学校、池田支援学校美馬分校、美馬市長寿障がい福祉課、美馬市保険健康課、美馬市子どもすこやか課、美馬市教育委員会教育研究所、つるぎ町保健センター、つるぎ町福祉課、つるぎ町教育委員会、障害者支援センター小星園、障害者支援センターかしがおか、障がい児通所支援事業所こまち、相談支援センターイノセント

【会議録】 相談支援センターイノセント

<会議内容>

1. 相談支援体制について(パンフレット作成)

- 各機関で使用しているパンフレットを持ち寄り、今後の作成イメージや方向性について協議した。
- ・他市の子ども版障害福祉のしおりは見やすく使いやすい。参考にしてベースにしてはどうか。
- ・ライフステージごとの相談が多いので障害種別ごとに受けられるサービスを一覧にしてはどうか。
- ・乳幼児への対応はどこまで盛り込んでいくか検討する必要がある。
- ・データは随時更新し、統一した支援が出来るようにする。

2. 災害時避難マニュアルについて

- 美馬市・つるぎ町の防災情報を確認し、障害児者に対する今後の対応を協議した。
- ・美馬市では防災の手引きはあるが、一般用であり水害の特性や避難の流れ等を記載しており、障害者用でない。つるぎ町も防災マップはあり、防災計画には要配慮者への対応等を記載したものはあるが、障害者に対する具体的な物はない。
- ・発達障がい者や身体障害など様々な障害や特性に対応できる避難所はあるのか。避難所の受け入れ体制はどうか。避難所で対応が出来るよう情報提供書が必要になって来るのではないか。
- ・マニュアルを相談支援体制のパンフレットに盛り込んだらどうか。

3. 家族支援について

- 徳島県西部の親の会などの活動について情報を共有する。
- ・会の開催場所が遠く、また障害種別も違うため集まりに参加したいが、繋がっていないという現状がある。

・現在、西部には数ヶ所に親の会がある。三好市のにじの会は県の保健師が主体となって活動を行っており、保護者や本人に加え、療育センターや教諭、臨床心理士も参加している。美馬市・つるぎ町の保護者やこどもの参加もある。年に数回行事をしたり、平日の日中に集まり、定期的に意見交換等を行っている。

・会ごとに保護者の悩みが違い、現在では通常学級に所属する発達障がいの子どもの悩みが多い。

4. まとめ

①パンフレット作成については他市の子ども版障害福祉のしおりをベースに、具体的な構成に関しては協議し、専門分野別に各機関に依頼して作成していく事になる。

②災害時の対応としてはまずは美馬市・つるぎ町の現状の把握の為、行政担当者に説明を依頼する。

③家族支援については今後も各機関と情報共有をしながら必要に応じて家族に情報提供が出来るようにする。

*次回開催予定は12月20日(水)